| 学校番号 | ４０７ |
|---|---|

# 平成３１年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書道Ⅱ」　（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■書道Ⅰで習得した技法を基礎にして、多くの古典作品の臨書をし、さらに表現の幅を広げましょう。
■書道Ⅰで培った集中力をさらに高める努力をしましょう。
■自主性を育て、自分で考えて行動できるようにしましょう。
■学習を通して、人間性を高めましょう。

## ２　学習の到達目標

・書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
・感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力をさらに伸ばす。
・書の伝統と文化についての理解を深める。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | ・観察<br>・発問に対する答え方<br>・ノートのまとめ方 | ・観察<br>・添削時の発問に対する答え方<br>・提出作品 | ・観察<br>・提出作品 | ・観察<br>・他者の作品に対する評価<br>・提出作品<br>・ノート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| Ⅰ | | ・オリエンテーション | ○ | | | | 書道教室の使い方、用具用材の正しい使い方、授業への取り組み方、挨拶と返事の習慣化 | ・発問に対する答え方<br>・ノートのまとめ方 |
| | 隷書の学習 | 『居延漢簡』の臨書 | ○ | ○ | | | a:見たまま、感じたままを口頭で表現できている。<br>b:毛筆を使って、見たまま、感じたままを表現できている。<br>c:特徴的な線質を習得し倣書作品を完成できる。<br>d:自由作品として表現できる。 | ・観察<br>・添削時の発問に対する答え方<br>・提出作品 |
| | 篆刻の学習 | 6分角の姓名印の作成 | | ○ | ○ | | a:篆書の特徴を理解する。<br>b:印稿の作成を丁寧に行う。<br>c:布字を根気よく、最後まで粘り強く取り組む。<br>d:運刀は大胆に、思い切って行う。 | ・観察<br>・添削時の発問に対する答え方<br>・提出作品 |
| Ⅱ | 鑑賞作品制作 | 半切1/3に2字書き創作作品<br>半切1/3に5～6字書き臨書作品<br><br>表書きの練習 | | ○ | ○ | | a:創作・臨書作品ともに半紙で練習する。<br>b:画仙紙で、錬度を高める。<br>c:鑑賞力を生かし、完成度を高めていく。<br>d:半紙に表書きの練習を行う。 | ・観察<br>・添削時の発問に対する答え方<br>・提出作品 |
| Ⅲ | 鑑賞作品の完成 | マクリの作品を裏打ちし、パネル作品として完成させる。<br><br>表書きの練習<br>表書きの練習終了後、半紙の自由作品 | | ○ | ○ | ○ | a:裏打ちの説明をよく聞き、行動に移す。<br>b:指示をよく聞き、丁寧に取り組む。<br>c:表書きの練習の続きを行い、完了させ、ノートを完成させる。<br>d:自由作品として表現できる。 | ・観察<br>・添削時の発問に対する答え方<br>・提出作品<br>・ノート |